

大会日程 第1日 11月12日（土）14：10～19：30

■受付開始 13：30（D館オーディトリウム）

■開会挨拶、公開講演会 [ICU礼拝堂、Zoom配信]

14：10 14：20	開会の辞 会長 福岡 正太 挨拶 国際基督教大学副学長 ロバート・エスキルドセン
14：20 14：50	ICU宗教音楽センター共催 公開講演会 → 6頁 日本のオルガン 講演：金澤 正剛 司会：マット・ギラン

■公開演奏会 [ICU礼拝堂（Zoom配信なし）]

15：00 16：30	ICU宗教音楽センター共催 公開演奏会 → 8頁 ICU 11月演奏会 日本のオルガン音楽 オルガン：岩崎 真実子、(助演) 菅 哲也 【お断り】演奏会はライブ配信をせず、代わりに動画を配信します。
---------------------	--

■田邊尚雄賞授賞式、定時社員総会 [D館オーディトリウム、Zoom配信]

16：45 17：15	第39回田邊尚雄賞授賞式 受賞者：佐本 英規 受賞対象：『森の中のレコーディング・スタジオー混淆する民族音楽と周縁からのグローバリゼーション』 (昭和堂、2021年2月)
17：15 18：20	一般社団法人東洋音楽学会 第11回定時社員総会 → 31頁

■田邊尚雄賞授賞祝賀会、懇親会 [ICUダイアログハウス、Zoom配信]

(状況によってはZoom配信のみの場合あり)

18：30 19：30	田邊尚雄賞授賞祝賀会、懇親会 (新型コロナウイルスへの感染防止対策のため、食事の提供はありません。飲み物は持参して構いません。)
---------------------	---

大会日程 第2日 11月13日(日) 9:00~17:10 ICU本館

■研究発表1 9:00~10:40

	1-A [H-262、Zoom A会場]	1-B [H-260、Zoom B会場] 司会：小日向 英俊
9:00 9:30	共同発表 → 9頁 金 志善 (代表)、植村 幸生、ケビン・マイケル・スミス (非会員)	柚木 かおり → 10頁 民俗バラライカの現在—レパートリーを中心に—
9:35 10:05	日本帝国と植民地朝鮮の音楽交差—音楽の調査・移動・移植の観点から— (10:30終了)	井上 春緒 → 11頁 『タブラー理論体系書』からみる18世紀のインドの打楽器演奏法
10:10 10:40		岩崎 愛 → 12頁 長唄三味線の駒に関する歴史的研究—大正期から昭和期の文献調査を中心に—

10:40~10:50 休憩

■研究発表2 10:50~12:30

	2-A [H-262、Zoom A会場] 司会：齋藤 桂	2-B [H-260、Zoom B会場] 司会：近藤 静乃
10:50 11:20	松村 麻由 → 13頁 ディズニー・アニメーションとエキゾティシズムの問題—《アナと雪の女王》における「サーミ的なもの」を例に—	高橋 葉子 → 16頁 謡伝書「永正元年観世道見在判伝書」の音曲論
11:25 11:55	安原 道子 → 14頁 愛好者による民謡の継承—福岡と長崎におけるNHKラジオ放送局開局時の演奏者と現在の事例から—	中川 優子 → 17頁 『白石先生遺文』所収「律呂説」について
12:00 12:30	曾 煜媛 → 15頁 日中映画における琵琶の文化像	黒川 真理恵 → 18頁 R.ディットリヒ『Nippon Gakufu』第1集・第2集(1894;1895)における日本音楽

12:30~13:20 休憩

■研究発表3 13:00~15:00

	3-A [H-262, Zoom A会場] 司会：小塩 さとみ	3-B [H-260, Zoom B会場]	3-C [H-315, Zoom C会場]
13:20 13:50	梶丸 岳 → 19頁 秋田県における地元一曲民謡大会—現代化した「民謡」の場として—	共同発表 → 22頁 田中 多佳子 (代表・司会)、 岡田 恵美 、 小尾 淳 、 小日向 英俊 、 田森 雅一 、 寺田 吉孝	13:00~16:40 映像発表 → 24頁 小西 潤子 くるちの杜100年プロジェクト in 読谷をめぐる6/100 (2017-2022) 年の記録 (ループ上映)
13:55 14:25	神野 知恵 → 20頁 伊勢大神楽をモチーフとしたわらべうたの伝承	インド音楽世界における音楽家と演奏記録の統合的データベース構築とその可能性	
14:30 15:00	福岡 正太 → 21頁 調査資料の保存管理と共有への展望—五島列島民俗音楽調査資料を例に—	(14:50終了)	

15:00~15:10 休憩

■研究発表4 15:10~17:00

	4-A [H-262, Zoom A会場] 司会：高松 晃子	4-B [H-260, Zoom B会場] 司会：遠藤 徹
15:10 15:40	滝 奈々子 → 25頁 ポピュラー音楽における感覚経験の検証—中米グアテマラ高地の事例をあげて—	青木 慧 → 28頁 江戸期吉原遊廓における「継節」の実態—その始まりと歌詞にかんする—考察—
15:45 16:15	鈴木 麻菜美 → 26頁 宗教儀礼における「歌唱の応答」の実践と役割—アレヴィーのテヴヒッドを例に—	山田 淳平 → 29頁 明治初年の雅楽改革と伶人の動向—春日大社所蔵「芝葛忠日記」を素材に—
16:20 16:50	T. M. ホッフマン → 27頁 「音文化」を軸に日本とアジアにおける共同開発へ—Glocalグローバルの落とし穴を埋める地域意識向上—	孫 瀟夢 → 30頁 1980年代における中国楽器奏者の来日とその背景
16:50 17:00	3-C 映像発表の質疑応答 小西 潤子 (題目省略)	

17:00 閉会の辞 大会実行委員長 マット・ギラン [H-262, Zoom A会場]